

和光市 みどりの基本計画

概要版

子どもたちが大人になっても暮らしたいと思える
「湧き水」と「みどり」のまち



令和 4 年 3 月
和光市



みどりの基本計画とは

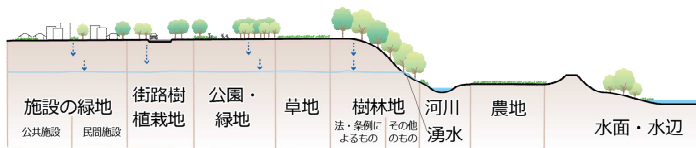
計画の概要

和光市みどりの基本計画は、都市緑地法第4条に基づく計画であり、本市のかけがえのない“水とみどりの豊かな環境”を、子どもたちやその先の世代につないでいくための取組を示すものです。

【計画期間】 令和4年度（2022年度）から令和23年度（2041年度）までの20年間

【対象とするみどり】

本計画では、水面・水辺、農地、河川、湧水、樹林地、草地、公園・緑地、街路樹・植栽地、施設の緑地などを対象とし、「みどり」と表現しています。



みどりの現状と課題

みどりの特徴

本市は以下のような特徴的なみどりを有しています。

◆武蔵野台地の崖線^{かいせん}から流れる湧水

市の北側に荒川低地、南側に武蔵野台地が広がっています。台地と低地の間に発達した崖線があることで、本市には多くの湧水があります。



富澤湧水

◆斜面地を中心に存在する樹林地

武蔵野台地斜面を中心に存在する樹林地は、白子川や谷中川に沿って連なり、みどりの回廊をなしています。



白子宿特別緑地保全地区

◆今に伝える歴史・文化とみどりのつながり

白子宿には多くの湧水があり、道行く人の喉を潤し、野菜洗いにも使われていました。熊野神社の富士塚は自然と文化を結び付けています。



漆台洗い場



熊野神社

◆貴重な動植物

湧水と樹林地が織りなす特徴的な環境には、様々な動植物が息づいています。



カタクリ



ヒロハアマナ



サワガニ



キツネノカミソリ



キンラン



イチリンソウ

◆湧水・樹林地を活かした特長ある公園

自然の地形や湧水・樹林地、水辺を活かした公園・緑地が多くあります。

また、球技施設や多目的広場が設けられたスポーツを楽しめる公園もあります。



柿ノ木坂湧水公園



和光スポーツアイランド

みどりの機能

都市におけるみどりは、貴重なオープンスペースであり、市民の暮らしを支えるグリーンインフラとして、5つの機能を有しています。



環境保全
機能



生物多様性
確保機能



レクリエー
ション機能



防災機能



景観形成
機能

みどりの分布

市内には、樹林地、公園、集合住宅の樹木、農地など、様々なみどりがありますが、公園の分布に偏りがあることや、開発等により減少することが懸念されています。



自然環境の保全活動と協働

市内では、市民や環境団体が自分たちの手で身近な自然を保全する活動が活発に行われてきました。そのような市民たちの自発的な活動を支援するため、様々な協働事業が行われています。



自然観察会（大坂ふれあいの森）



湧水調査（富澤湧水）



植栽の管理（広沢原児童公園）



プレーパーク（柿ノ木坂湧水公園ほか）

みどりの課題

みどりに関する現状等を踏まえ、みどりの課題を以下のように整理しました。

課題1

本市の特徴である湧水や斜面林を失うことのないよう、みどりを保全する必要があります。市内のみどりを誰もが利用しやすい環境にすることで、市民に愛されるみどりを維持していくことが求められます。

課題2

市内の公園の分布に偏りがみられるため、地域にある学校や社寺等のみどりを柔軟に活用することが求められます。また、まちを緑化していくことで、地域のみどりを新たにつくすることも必要です。

課題3

みどりに関心を持ち、みどりを愛する人を増やしていくためには、みどりの良さを掘り起こし、その良さを広める必要があります。

課題4

市内のみどりを保全・活用していくため、市民や市民団体等の育成を図ると共に、みどりの輪をつなげていくことが求められます。

みどりの将来像

子どもたちが大人になっても暮らしたいと思える
「湧き水」と「みどり」のまち

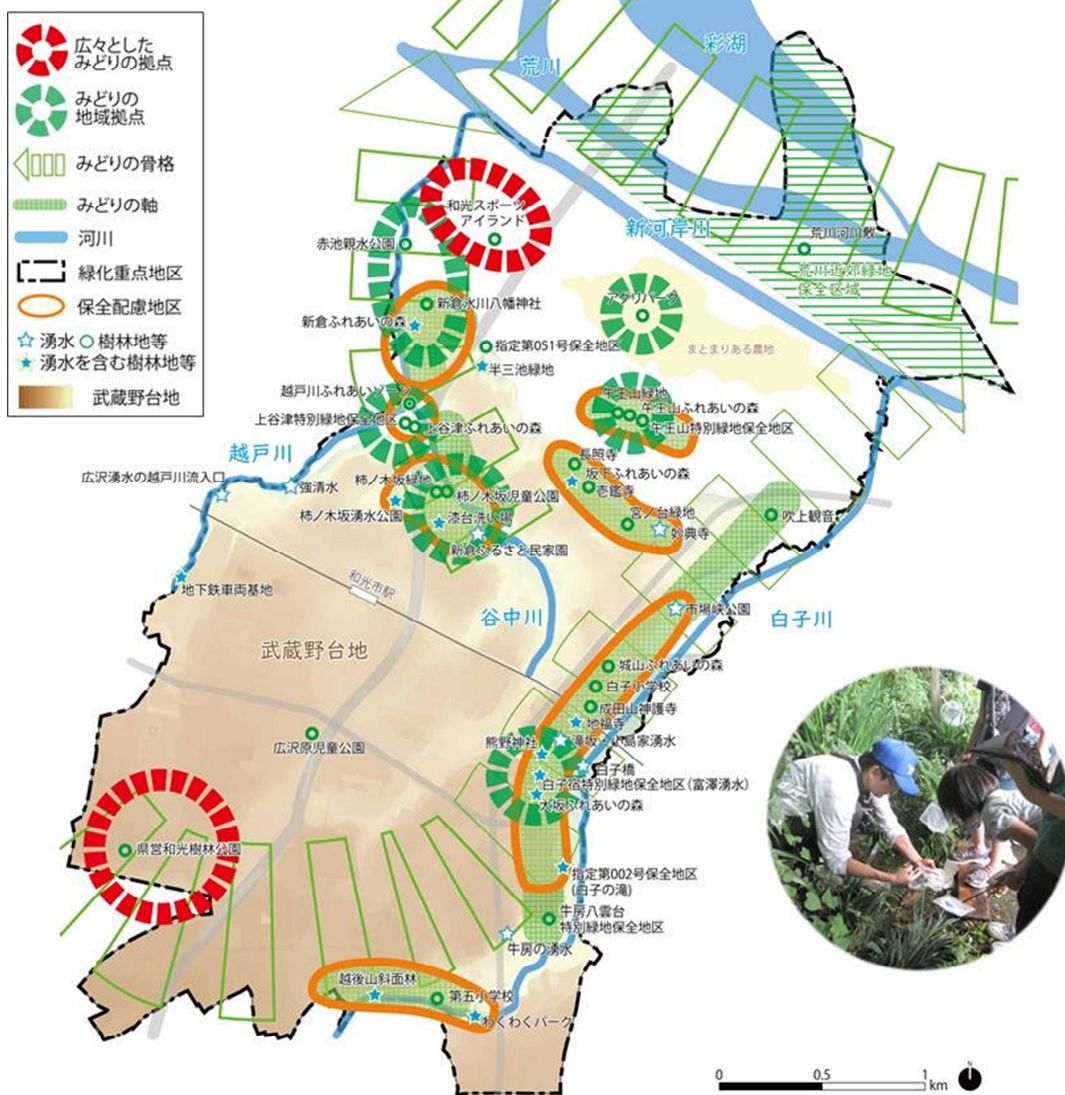
和光市は、武蔵野台地と荒川低地にまたがり、その地形は白子川等の河川により台地が浸食され、長い年月をかけて形成されてきました。そのため、東京都心から 20km 圏内にありながら多くの斜面林のみどりや、きれいな湧き水が存在しています。

「みどり」は、良好な住環境やコミュニティの場を提供したり、子どもたちに身近な自然に触れられる場や、遊びの中で触発され好奇心を育てる学びの場を提供してくれるかけがえのないものです。

和光市の「湧き水」や「みどり」の中で、学び育った子どもたちが、この場所に愛着を持ち、大人になってもこの「湧き水」や「みどり」のみずみずしいまちで暮らしたいと思える場所を残し、維持することを目指します。



みどりの将来像図



4つの基本方針

将来像を実現するために、みどりのまちづくりの方向性として4つの基本方針を定めます。これらの基本方針が持続的な好循環を創り出し、和光市のみどりを育みます。

新たなパートナーがみどりと関わり

さらなる みどりの維持
みどりの創出 につながる

基本方針4

みどりの
パートナーづくり

みどりを愛するパートナーが増え、
育っていく

多様で貴重な和光市のみどりの魅力を掘り起こし、多くの人にみどりの良さを発信すると共に、イベント等のみどりに触れる機会を増やし、その魅力を休感する取組を進めます。

基本方針1

みどりの維持

豊かなみどりを保つ

豊かな水とみどりの空間を、安全で快適な生活を支える社会基盤（グリーンインフラ）や生物の貴重な生息地として守ると共に、みどりを一層市民に愛される場として育てていくことで、次世代に和光のみどりをつなぎます。

基本方針3

みどりの魅力発信

みどりの魅力を広く伝え、
触れる機会をつくる

和光市のみどりを支えてきた団体の活動を支援すると共に、新たなみどりのパートナーを育成します。そして、その活動をより活発にするために、団体同士の連携を促進します。さらに、企業や教育機関等と連携した取組を進めます。

基本方針2

みどりの創出

豊かなみどりをつくり、活用する

公共のみどりを生み出すと共に民有地のみどりを増やす取組を進めます。また、地域の中の既存のみどりや空間を活かす取組を並行して進めます。

みどりの目標

本計画を進めていくにあたり、4つの方針に基づく取組の効果や、日々の暮らしにおけるみどりの豊かさを図る指標として、以下の5つの目標を掲げます。この5つの目標のほか、各基本施策ごとの進捗状況を確認するための目標を別途定めています。

目標1

保全・創出する
緑地の面積

現在、みどりの減少が懸念されています

新たに保全
(担保性の強化)

2041年

目標値

保全：2.0ha
創出：1.8ha

目標2

湧水の箇所数



2021年

現状値

21箇所

2041年

目標値

21箇所
(現状維持)

目標3

湧水に親しめる
環境の整備

2021年

現状値

3箇所
富澤湧水/柿ノ木坂湧水公園
/市場峡公園

2041年

目標値

5箇所

目標4

みどりを市の魅力
と感じる割合※

2021年

現状値

大人：49.9%
中学生：36.1%

2041年

目標値

大人：60%
中学生：50%

目標5

「自然環境が豊か」
なので和光市に住み
続けたい人の割合※

2021年

現状値

大人：13.8%
中学生：6.5%

2041年

目標値

大人：20%
中学生：20%

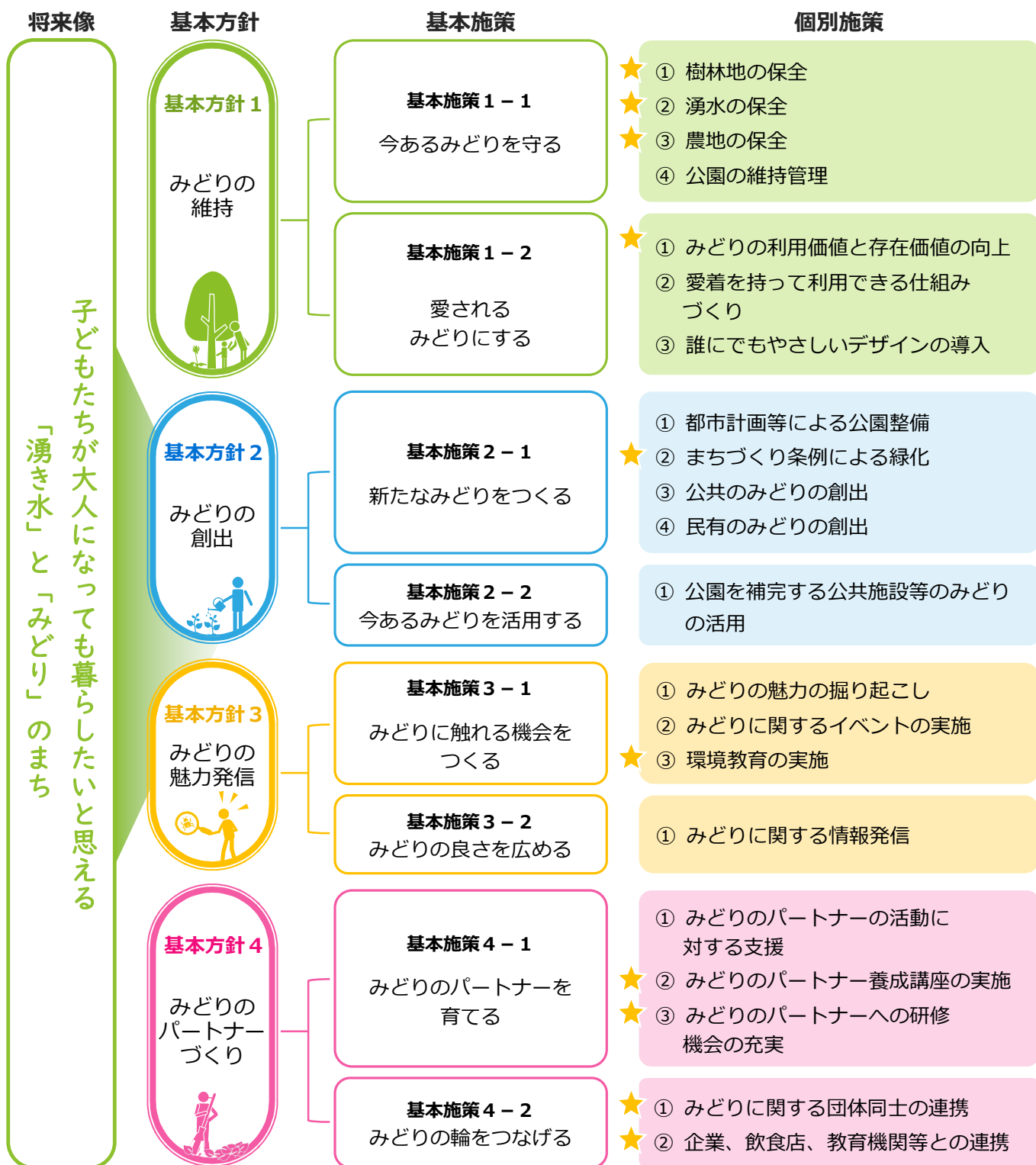
※ 目標4と5は、都市計画マスタープラン策定のためのアンケートを指標として活用します。



将来像の実現に向けた基本方針・取組

施策体系

みどりの将来像の実現に向けて、以下の施策を展開していきます。



★ 重点プロジェクトに関連する施策



重点プロジェクト

和光市の特徴である豊かな湧水と斜面林を次世代に継承するため、複数の施策や組織を横断的、かつ戦略的に推進する重点プロジェクトとして、下記のとおり位置づけます。

重点プロジェクト

湧水と親しめるせせらぎのあるまち

次の一連の戦略を通じて、将来に渡って湧水を守ります。

戦略1 湧水の水辺づくり

市民に湧水の大切さを理解してもらい、保全継承に向けた意識を高めるため、湧水周辺の景色を気軽に楽しんでもらえるような親しみやすい水辺の景観整備を進めます。これにより、環境教育等への活用や湧水の魅力のPRにもつながります。

戦略2 湧水の守り手育成

湧水を継続的に守る人材を育てていくため、樹林地等の管理団体や各種サポーターのスキル向上のための取組や保全活動への支援を行います。

戦略3 湧水涵養域の保全

湧水量を維持するために、源となる地下の浸透水を守ります。そのために、湧水の涵養域の調査研究をすると共に、市民全体の湧水への意識を高め、市民の合意・共感を得ることで、台地上の広い範囲における湧水涵養域の保全を行う環境を整えます。そして、涵養域の緑地の保全や創出（雨水浸透機能を有した施設の導入検討等）を進めます。



柿ノ木坂湧水公園

計画の実現に向けて

本市のみどりの将来像の実現に向けて、市民、市民団体、企業、教育機関、行政がそれぞれの役割を認識し、協働して取組を推進します。

市民

- 愛着を持ちみどりを利用
- 家庭や地域における緑化推進
- みどりのイベントや講座への参加
- みどりのパートナーとしての活動 等

市民団体

- みどりの保全・創出・維持管理
- みどりの存在・利用価値の向上
- みどりに触れる機会の提供
- みどりに関する調査・情報発信 等

企業

- 事業所内の緑化推進
- みどりの保全・創出活動への参加・協力
- みどりのイベントへの参加・協力 等

行政

- 本計画の推進・進捗管理
- みどりの保全・創出・維持管理
- みどりのイベントや講座の実施
- みどりに関する調査・情報発信
- みどりの連携の輪づくり
- 国や県との連携 等

教育機関

- 各施設内の緑化推進
- みどりの保全・創出活動への参加・協力
- みどりのイベントへの参加・協力
- みどりに関する調査・研究 等

計画の推進体制

また、施策の進捗管理にあたっては、毎年度施策の進捗状況の確認を行い、市ホームページ等を通じて広く市民に公表します。

さらに、計画の中間年となる令和13年（2031年）には、中間見直しを行います。

管理	年度	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)	R7年 (2025)	R8年 (2026)	R9年 (2027)	R10年 (2028)	R11年 (2029)	R12年 (2030)	R13年 (2031)
施策の進捗状況の 確認・公表	計画 策定		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
施策の検証・評価							●					

	R14年 (2032)	R15年 (2033)	R16年 (2034)	R17年 (2035)	R18年 (2036)	R19年 (2037)	R20年 (2038)	R21年 (2039)	R22年 (2040)	R23年 (2041)
施策の進捗状況の 確認・公表	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
施策の検証・評価					●					

施策の進捗管理と計画期間のスケジュール

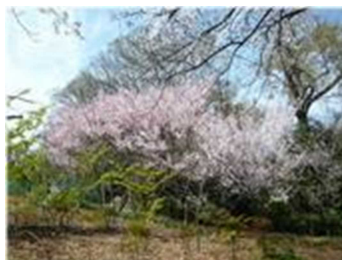
主な公園・緑地



新倉ふれあいの森



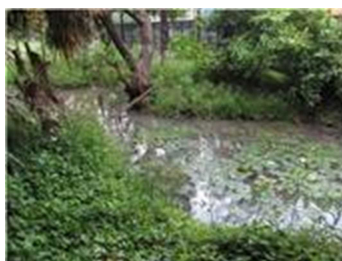
午王山ふれあいの森



上谷津ふれあいの森



柿ノ木坂湧水公園



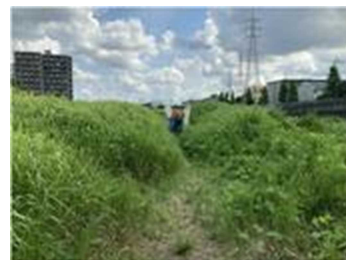
地下鉄車両基地



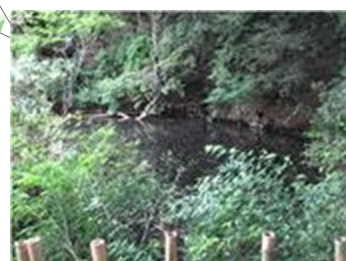
県営和光樹林公園



牛房八雲台特別緑地保全地区



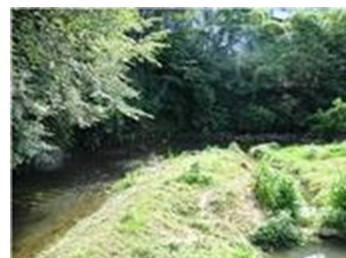
外環上部丸山台広場



熊野神社



白子宿特別緑地保全地区
(富澤湧水)



わくわくパーク



和光市みどりの基本計画 概要版

令和4年3月

和光市 建設部 公園みどり課 公園緑地担当

TEL : 048-464-1111 FAX : 048-464-5577

Eメール : e0700@city.wako.lg.jp

